

釧路川標茶地区水害タイムライン検討会

設立趣旨と今後の進め方



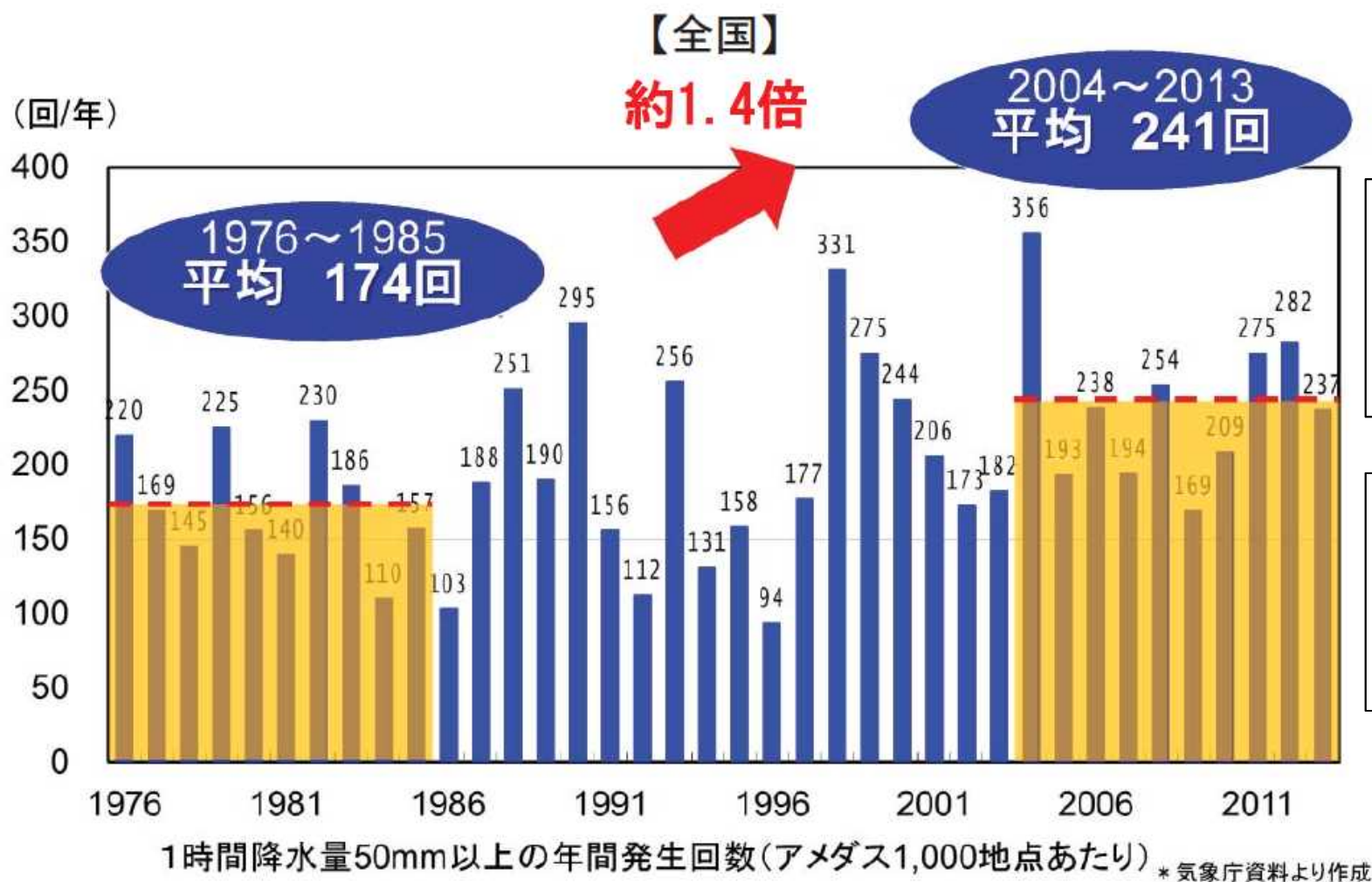
国土交通省

北海道開発局

釧路開発建設部

年々、水害の発生リスクは高まっている

近年、地球温暖化に伴う大型台風や集中豪雨などにより、全国各地で水害や土砂災害が頻発



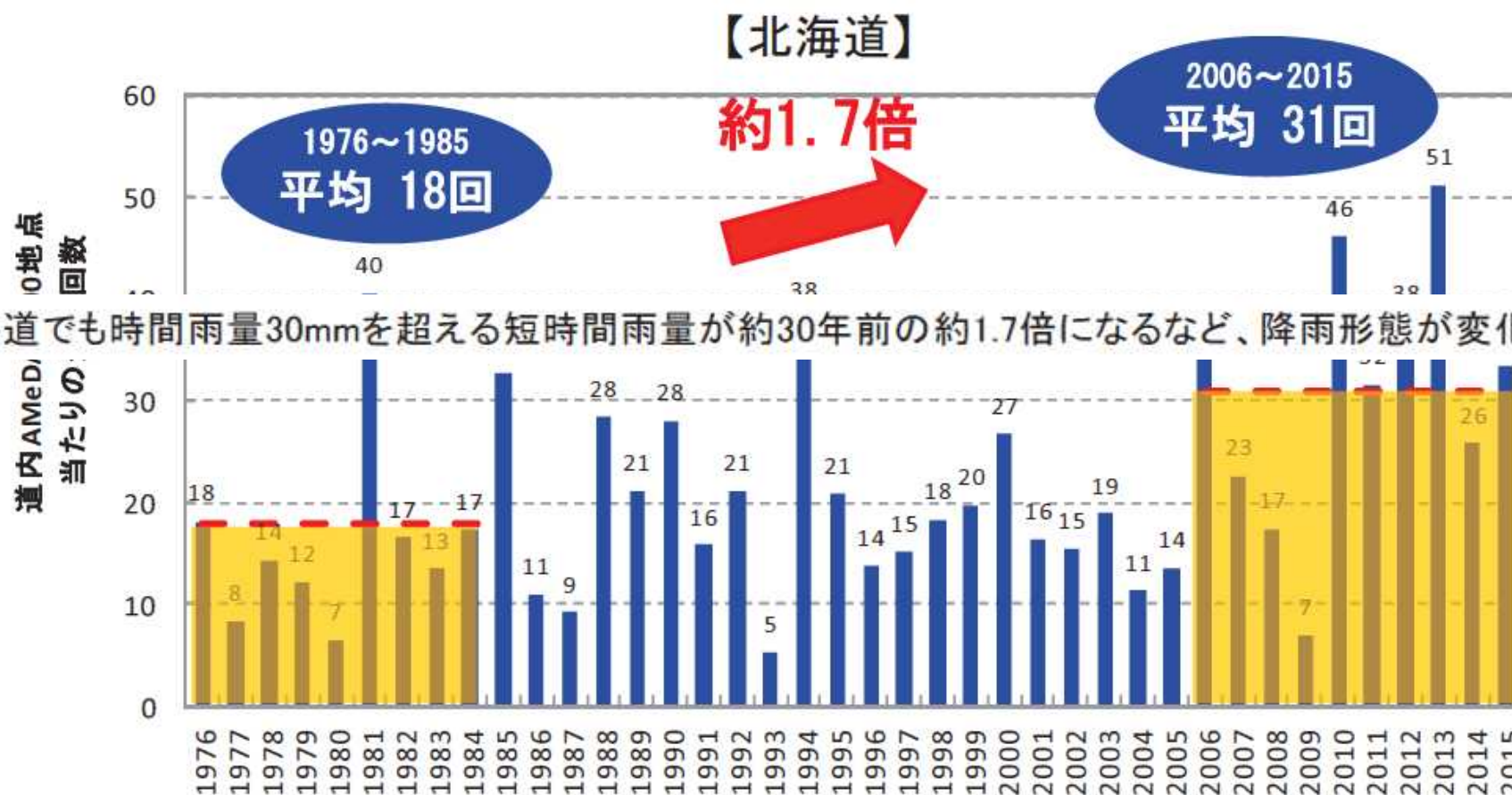
時間50mmとは？

・30mm以上50mm未満
激しい雨 バケツをひっくり返したように降る

・50mm以上80mm未満
非常に激しい雨
滝のように降る
(ゴーゴーと降り続く)

年々、水害の発生リスクは高まっている

北海道でも時間雨量30mmを超える短時間雨量が約30年前の約1.7倍になるなど、降雨形態が変化している。



道内アメダス100地点当たりの時間当たり30mm以上の降雨発生回数

※一般財団法人 日本気象協会北海道支社 資料を一部改変

計画規模を超える洪水が、道内のどこで起こってもおかしくない状況

平成28年8月北海道豪雨災害 空知川幾寅地区での決壊氾濫状況



- ・平成27年の鬼怒川堤防決壊や平成28年の空知川堤防決壊など、計画を超える大規模な洪水が発生しており、釧路川でも浸水被害が発生することを想定しておく必要がある。



- ・このため、住民の円滑・確実な避難や浸水被害の軽減に向けては、河川管理者をはじめとする関係機関との連携や調整が重要となる。



- ・釧路川外減災対策協議会の枠組みを活用し、昨年、多くの住民が避難行動をされた標茶地区をケースとし、先を見越した早期の災害対応を実現する「釧路川標茶地区水害タイムライン検討会」を設立する。

【参加機関】

標茶町、標茶町教育委員会、標茶消防署、標茶消防団、
標茶町土木建設業協会、標茶町自治会連合会、弟子屈町、
釧路方面弟子屈警察署、陸上自衛隊釧路駐屯地、
釧路総合振興局、釧路地方気象台、釧路開発建設部

【アドバイザー】

北見工業大学教授 高橋 清 氏
北見工業大学教授 早川 博 氏
東京大学大学院客員教授 松尾 一郎 氏

【オブザーバー】

釧路川外減災対策協議会

【事務局】

標茶町（総務課）、釧路地方気象台（防災管理官）
釧路開発建設部（治水課、釧路河川事務所）

- ・ 水防体制の見直し・改善
- ・ 顔が見える関係の構築
- ・ 早め早めの防災行動の確立、
漏れ・抜け・落ちの解消
- ・ 住民の早期避難
- ・ 防災機関、町内会が一丸となった災害対応の実施



タイムライン検討の様子
(平取地区タイムライン検討会HPより)

平成29年11月 水害タイムライン検討会 設置

- ・ 検討会の発足
- ・ タイムラインを学ぶ、タイムラインに対する期待
- ・ 今後の進め方

平成30年1月 第2回検討会

- ・ H28年8月大雨の振り返り、課題等の抽出
- ・ 想定シナリオ・リスクの理解、共有
- ・ ワークショップ形式による課題の抽出

平成30年3月 第3回検討会

- ・ 到達目標の設定
- ・ 防災対応行動項目の抽出
- ・ 行動細目の整理

必要に応じて、タイムライン検討の振り返り(勉強会)

平成30年6月 第4回検討会

- ・ タイムライン1次案
- ・ 前年度の振り返り
- ・ 追加する行動項目・細目の検討
- ・ 各行動細目の実施時期と所要時間の検討

平成30年7月 第5回検討会

- ・ タイムライン2次案
- ・ 読み合わせ形式による内容確認
- ・ 各行動項目の担当・連携機関の検討
- ・ 連携上の課題抽出・対応検討

タイムライン試行版 (H30年夏までを目標)

- ・ 昨年の大雨では、支川や上流域で氾濫が多く発生し、農地被災や橋梁流失による交通網の途絶など、大きな被害が発生。
- ・ 近年の地球温暖化により、雨の降り方が局地化、集中化、激甚化している。
- ・ 堤防が決壊する豪雨災害は、いつ、どこで発生してもおかしくない気象状況。
- ・ 堤防整備などのハード対策に加えて、日頃から水害対応を想定しておく、タイムラインの作成は重要。
- ・ 今後、タイムライン検討会での活発な議論を、よろしくお願いいたします。